

## 研究に関するお知らせ

研究の名称： 胃癌手術胃切離操作に対する鏡視下手術の有効性・根治性に関する後方視的研究

### ■研究目的・方法・対象

胃癌では、術前診断にて原発巣の正確な範囲が特定できない場合があります。胃切除範囲に十分な注意が必要です。特に鏡視下手術(腹腔鏡・ロボット支援下)では、触覚の低下・欠如から、手術時の胃切離位置の判断に窮する場合があります。開腹手術と比較し、安全に切離断端距離を確保できるかについて十分な知見はありません。そこで、開腹手術、鏡視下手術症例での、術中胃切離断端陽性・追加切除必要例を抽出し、鏡視下手術による胃切離の正確性・根治性を検討します。

### ■研究期間

承認日～2027年12月31日まで

### ■研究対象・研究に用いる情報の種類

2010年1月1日以降で、胃癌にて当院で手術加療を実施した症例の治療情報を電子カルテから抽出します。抽出する具体的な項目として、①原発巣の位置、肉眼型、組織型、②術式(切離範囲・アプローチ法)、③術前マーキング・術中内視鏡の有無、④切離断端の術中迅速病理診断、術中追加切除の有無、⑤口側・肛門側断端距離(PM・DM)、⑥術後腹腔内合併症・術前術後補助化学療法の有無、⑦無再発生存期間を予定します。

### ■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では、症例を匿名化してデータを収集致します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。みなさまに新たにご負担頂くことはございません。当研究への協力を希望されない場合は、研究担当者までお問い合わせ下さい。

### ■研究責任者：

京都医療センター外科 中西 保貴

### ■お問い合わせ先

京都医療センター外科

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

電話：075-641-9161

### ■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載